

「イソベっちの、前へ前へポッポー！」

2012年12月2日(日曜)

ゲスト:假谷登さん(株式会社サニコン 特別顧問)

第76回の「のびのびさん」は、株式会社サニコン特別顧問、假谷登さんです。

Q. どのような事業をされている会社ですか？

1970年に創業した水処理のエンジニアリングの会社で、堺市に本社があります。最近では多角的な経営をしていて、マンションやビルの水タンクの清掃やポンプのメンテナンスなど水回りの仕事もしています。

Q. 他の企業にはマネできない新技術を持っているとお聞きしましたが…

最近では水を処理するのに「膜」を使います。汚いものを液体と固体に分離する膜とか、水と水に溶けているイオン（海水だと塩）を分離する膜など、色んな膜があります。この膜を用途によって使い分けてきれいな水を作ったり、工場排水をリサイクルするときに膜を使ったりという技術に挑戦しています。

Q. そんな假谷さんが、大商から水ビジネスの支援を受けているそうですね？

琵琶湖や淀川の周りには、水に関する中小企業がたくさん存在しています。大商と近畿経済産業局がそうした企業の海外展開を支援しようと「水分科会」を作りました。中小企業130社、大企業50社が集っています。

Q. どの国で活動をされているんですか？

ベトナムに目をつけました。ベトナムから研修生を会社に入れて国や民族性を勉強し、この国なら水ビジネス展開できると確信を得ました。4年前に出資会社を作って現在活動しています。

ベトナムは農業国ですが、これからは工業国に変わっていきようとしています。今年、大商のお世話でベトナム・ハノイの展示会に日本ブースを作っていたできました。大阪の中小企業の水処理技術をベトナムでアピールすべく、こぞって展示させていただくことができました。

Q. 大切にしている言葉「のびのびワード」を教えてください。

「上善如水」(じょうぜんみずのごとし)

水というのは低いところに流れて行きます。人に接するときはこの気持ちがいちばん大事だと思っています。

ありがとうございました。